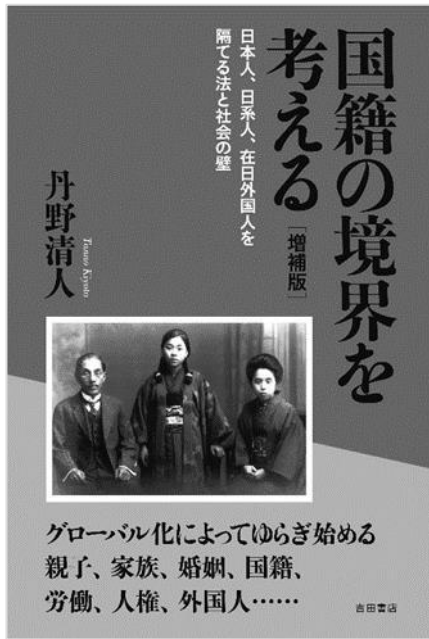


社会書ご担当者様
【2月中旬刊行】



46判上製 368頁 本体価格2900円
ISBN:978-4-905497-78-3

グローバル化によってゆらぎ始める親子、家族、婚姻、国籍、労働、人権、外国人……。私たちは何を問うべきか。
2019年の入管法改正をどう考えるべきか、問題点は何か、法改正は私たちの社会に何をもたらすのか。社会学者が丹念に考察。

国籍の境界を考える【増補版】

—日本人、日系人、在日外国人を隔てる法と社会の壁—

丹野 清人 著

- 第1章 戸籍から考える家族の境界
- 第2章 「国家を背負う移民」と「国家を背負わぬ移民」
- 第3章 動揺する国民国家を受け止める
- 第4章 日系人から考える日本国籍の境界
- 第5章 国籍法の法社会学
- 第6章 定住告示の法社会学
- 第7章 外国人労働者問題の根源はどこにあるのか
- 第8章 グローバル化時代の働き方を考える
- 第9章 国際移民の進化制度論的展開
- 第10章 外国人の「シティズンシップ」
- 第11章 「出入国管理及び難民認定法」改正と日本の外国人労働者

丹野 清人 (たんの・きよと)

首都大学東京大学院 人文科学研究科 教授

1966年生。一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学。

著書に、『顔の見えない定住化』（共編著、名古屋大学出版会）、『移動と定住の社会学』（共著、放送大学教育振興会）、『「外国人の人権」の社会学』（吉田書店）など。

吉田書店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 32 TEL03-6272-9172
ご注文は(株)JRCへ TEL03-5283-2230

FAX:03-3294-2177

書店印	ご注文	吉田書店発行	丹野清人 著	本体 2,900円 +税
	冊	国籍の境界を考える【増補版】 —日本人、日系人、在日外国人を隔てる法と社会の壁— ISBN:978-4-905497-78-3		